

施策分析シート（平成19年度）

No1

施策名		介護予防の推進		施策No		02-02		部課名		福祉部 福祉高齢者課	
関連部課名											
行政評価事業体系		分野	生涯健康都市 []								
		政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成 [0 2]								
目的		高齢者がいつまでも健康で生きがいをもって日常生活を送ることができるよう、介護予防のための施策を推進する。									
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明			
			16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)				
	健康推進リーダー活動者数	170	180	210	230	280	荒川ころばん体操・荒川せらばん体操、おたっしやランチ等の合計（重複）				
	高齢者会食サービス(おたっしやランチ)参加者数	82	1,305	2,378	4,500	6,500	延べ人数				
	荒川ころばん体操参加者数	35,462	46,769	54,753	60,000	80,000	延べ人数				
	口腔保健教室・講演会参加者数	-	-	1,873	1,000	2,500					
	認知症予防活動グループ数	5	7	9	10	15					
現状と課題（指標分析）		○高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして平成12年4月にスタートした介護保険制度が改正され、平成18年4月から改正法が施行された。この改正によって、「予防重視型システムへの転換」が図られ、介護予防への取り組みがより一層重要になってきている。 ○平成18年度の荒川区介護予防懇談会の検討結果においても、今後さらに高齢化が進行し、また、要介護高齢者が増加していく状況を勘案し、なお一層、質・量ともに介護予防事業を推進していく必要があるとされている。									
今後の方向性		[平成19年度] ○「介護予防のまちづくり」について検討を行ってきた荒川区介護予防懇談会において示された介護予防の具体的方策について、積極的に取り組んでいく。 ○高齢者等の主体的・自発的な介護予防への取り組みを推進するため、「荒川ころばん体操キャラバン隊」を創設し、ころばん体操等のさらなる普及活動を行う。									
		[平成20年度以降] ○「介護予防のまちづくり」について検討を行ってきた荒川区介護予防懇談会において示された介護予防の具体的方策について、引き続き、積極的に取り組んでいく。 ○介護予防事業を質・量ともに充実させるとともに、地域のネットワークづくりを推進することによって、要介護状態等になる恐れのある高齢者が介護予防事業に積極的に参加できるような仕組みづくりを進める。									

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	さらなる高齢化の進行や要介護高齢者の増加に鑑み、なお一層の介護予防への取り組みが重要である。

施策分析シート（平成１９年度）

No2

施策を構成する事務事業の優先度						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		17年度	18年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
転倒予防普及啓発事業	06-01-49	-	11,179	A	D	18年度のための事業
尿失禁予防教室・講演会	06-01-69	61	51	B	B	尿失禁は閉じこもりの誘因になりやすいことから普及啓発を図る
口腔保健教室・講演会	06-01-70	-	877	B	B	咀嚼力の低下を早期に発見し、食の機能の維持向上を図る
荒川ころばん体操	06-01-71	1,604	1,401	A	A	介護予防の周知を図るため、ころばん体操の一層の普及を推進する
荒川せらばん体操	06-01-72	6,351	5,702	A	A	虚弱高齢者の身体機能の改善を図る
ふれあい健康教室	06-01-73	2,170	894	C	B	高齢者の閉じこもり防止のため、より身近な場所で開催する
学校給食を活用した会食サービス事業費(おたっしランチ)	06-01-74	777	3,043	A	A	高齢者の閉じこもり予防や栄養改善を図れるとともに、運動機能向上の効果も期待できる
高齢者施設を活用した高齢者会食サービス(おげんきランチ)	06-01-75	-	3,185	A	A	高齢者の閉じこもり予防や栄養改善を図ることができる
認知症予防教室・講演会	06-01-76	299	231	B	A	認知症予防及び認知症高齢者に対する正しい理解についての普及啓発を図る。
低栄養予防教室・講演会	06-01-77	-	471	B	B	早期に低栄養のリスクを発見し食生活の改善を図る
健康推進リーダー育成	06-01-79	456	502	A	A	介護予防事業を広く展開していくうえで必要性が高い
地域包括支援センター事業費	06-01-80	-	120,624	A	B	高齢者とその家族、介護事業者、区との連絡調整機関として、機能の充実を図るとともに、その周知に努める
出張健康相談	06-01-83	797	797	C	C	現状の規模で実施する
高齢者等配食見守りサービス事業費	06-01-84	8,211	7,691	C	C	高齢者の見守り、低栄養防止の観点から、現状の規模で実施する
合 計		20,726	156,648			